

第14回

勇気ある 経営大賞

実施報告



後援：東京都／日本商工会議所／関東商工会議所連合会／東京都商工会議所連合会

協力：フジサンケイ ビジネスアイ

（2016年10月発行）

第14回

目次

会頭あいさつ	2
実行委員長あいさつ	3
選考にあたって	4
第14回「勇気ある経営大賞」受賞企業	5
大賞 株式会社キミカ	6
優秀賞 株式会社アспект	7
管清工業株式会社	8
特別賞 株式会社東京インスツルメンツ	9
株式会社マツブン	10
奨励賞受賞企業一覧	11
第14回「勇気ある経営大賞」実施概要	13
「勇気ある経営大賞」過去受賞企業一覧	18

会頭あいさつ

東京商工会議所 会頭

三村 明夫



わが国経済は、20年にわたるデフレ状態から劇的に改善し、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」の需要創造政策により、需給ギャップの解消を進め、デフレからの脱却まであと一步というところまで至りました。しかし、足元では、海外経済の減速やリスクの増大を受けて、わが国経済は再び力強さを欠いています。

今こそ、日本の潜在成長率を高めるための本質的な政策、すなわちサプライサイドの成長政策を遂行すべき局面に直面しています。サプライサイドの政策は、需要創造政策に比べて、成果が出るまでには一定の時間が必要となります。現在は、成果が出るまでの我慢の時です。サプライサイド政策の実行の主体は民間であり、日本経済の成長率を高めるためには、企業経営者自らがデフレマインドを払拭して、積極的な経営姿勢に転換しなければなりません。また、企業が前向きに設備投資やデジタル投資を行い、生産性を向上させることが求められております。とりわけ、わが国における全企業数の99.7%を占め、全労働人口の約7割を雇用し、日本経済を支える基盤である中小企業が、成長に向けて、勇気ある挑戦を行うことが不可欠です。

本年で第14回目を迎える「勇気ある経営大賞」は、革新的あるいは創造的な技術・技能やアイデア、経営手法等を通じて独自性のある製品・サービスを生み出した“勇気ある挑戦”を称える、他に類のない賞です。応募のあった167社の業種や業態は様々ですが、いずれの中小企業も、経営者の高い志と独創的なアイデアや創意工夫をもって、限られた経営資源を最大限に活用する企業ばかりでした。

とりわけ、受賞された企業は、果敢に海外展開に挑戦した企業や、国内の需要に新たな発想で対応した企業など、長きにわたり低迷が続いた日本経済の中で、困難な経営環境に直面しながらもピンチをチャンスと捉え、課題解決を図ってきた勇気ある経営を体現した好事例であります。後に続く中小企業に勇気とヒントを与え、成長に向けたイノベーションに取り組むためのきっかけになるものと確信しております。

末筆となりましたが、受賞されました企業各社の一層のご活躍にご期待申し上げるとともに、本賞の実施にあたり、ご推薦をいただきました関係各機関、ならびに選考に携わっていただきました関係各位に、厚く御礼申し上げます。

実行委員長あいさつ



「勇気ある経営大賞」実行委員長
東京商工会議所 副会頭

伊東 孝紳

第14回を迎えた「勇気ある経営大賞」は、昨年同様多数のご応募をいただきました。最終選考に残った企業をはじめ、ご応募いただいた企業の多くは創意工夫に溢れ、チャレンジ精神が旺盛な素晴らしい企業でした。

今回はその中から、大賞1社、優秀賞2社、特別賞2社を選出いたしました。また今後本賞を受賞することが期待される企業に対し、昨年より新設した奨励賞に10社を選出しております。この場を借りまして募集や選考に当たりご尽力いただいた皆さまには厚く御礼を申し上げるとともに、本顕彰制度にチャレンジされた全ての企業に感謝を申し上げます。

大賞企業のキミカは、アルギン酸一筋に取り組んできた企業ですが、創業者からの事業承継時に原材料の入手難・環境規制強化・海外低価格製品との競合という事業存続の危機に見舞われます。現社長の下、早期に原料産地のチリでの自社生産を決断するとともに、競合大手の受託生産をあえて積極的に引き受けることで製造ノウハウ・価格競争力を獲得し再建を果たしました。直近の10年間では米国進出を実現して売上を倍増、また将来有望な再生医療分野への参入を目指し新工場に先行投資するなど攻めの姿勢も高く評価されました。優秀賞2社には、先進技術に優れる日本製ハイエンド3Dプリンターの製品化に成功したアスペクト、下水道管理に調査専用

ロボットを導入した管清工業を選出しました。特別賞2社には、旧ソ連の高度な技術に着目し、自社製品に積極果敢に導入した東京インスツルメンツ、自社企画の高品質でオリジナリティー溢れる刺繍商品等で下請け脱却に成功したマツブンを選出いたしました。

昨年に続き実行委員長として選考に参画し実感したことは、受賞した各企業の経営者の方々には広い視野・先見性があり、また一方で、この領域では他社には絶対に負けないというくらいの技術や商品へのこだわりをお持ちだということです。そうした経営者のリーダーシップの下、いかに社会に対して貢献できるかを追求し企業の発展につなげていく。企業規模の大小を問わず、勇気ある挑戦をもって社会環境や経営環境を乗り越え、事業を成長されていることに大変勇気づけられました。

私ども東京商工会議所は、このような「勇気ある経営」を体現した企業の活動を広くPRすることで、後に続く多くの企業に、夢と挑戦する勇気を与えることが出来ると考えています。今回惜しくも入賞を逃した企業においても、勇気ある経営活動を継続・進化させ、是非再度チャレンジしていただきたいと思います。

今後とも本顕彰制度へのご支援、ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

選考にあたって

「勇気ある経営大賞」選考委員長
東京理科大学 イノベーション研究科教授

伊丹 敬之



勇気ある経営のポイントが海外展開への果敢な挑戦であったという企業が多かったのが、今年の選考のもっとも強い印象であった。人口減少時代を迎える日本経済の中で、今後の企業の生きる道が中小企業といえども海外展開への挑戦だという意味で、日本の中小企業の将来の大きな方向性を示唆している。

大賞のキミカは海藻からとれる成分をベースにしたアルギン酸の専門企業だが、海藻の原料確保のための80年代のチリへの生産基地の進出、市場開拓のための2000年代のアメリカへの販売基地の展開、この二つの海外への挑戦が成長を決定づけた。

優秀賞のアスペクトはハイエンド3Dプリンターのメーカーだが、新機種開発でこの業界の初期段階から国際的な開発競争に挑み、また近年の発展は欧州への市場開拓の貢献も大きい。国際競争力のある機種開発といい、欧州への市場進出といい、勇気ある決断であった。

また、特別賞の東京インスツルメンツは光学関係の計測分析機器の開発商社だが、1991年のソ連邦の崩壊時にいち早くこの地域の技術ポテンシャルに眼をつけ、現地の技術者との合併企業を作った。共産主義の崩壊という地球規模の大社会変動の中の、勇気ある挑戦であった。

一方で、日本国内のさまざまな需要にユニークな発想で挑んだ企業も優秀賞と特別賞を獲得した。優秀賞の管清工業は下水道管路の調査とメンテナンスの会社だが、地中の管路の中を探索するロボットの開発に挑戦し、見事にそれ

を成功させて人間を危険にさらさない安全な管路調査とメンテナンスを可能にした。特別賞のマツブンはロゴの刺繍メーカーだが、企業用ロゴの作成にユニークな仕組みを開発し、アパレル産業依存の業態から大きく転換した。それは注文をする側が気楽に注文でき、また注文ロゴの作成プロセスにもこだわりをもった仕組みの開発であった。

さらに今年を受賞企業の共通の特色と言えるのは、モノの開発とそれをベースにしたサービスの提供が一体化した、製造プラスサービス業と言える業態ばかり、ということである。たんに安く大量にモノを作ればいいのではない、またたんにサービスを効率的に提供するから意味があるのではない、モノとサービスが一体化したところで競争力を発揮するような企業ばかりであった。

こうしたモノとサービスの一体化は、モノづくり日本の今後の発展の方向として、きわめて大切な方向である。そういう方向の企業を選ぶことを選考委員会が意図したわけではなかったが、将来の日本の方向性が今回の受賞企業に見事に表れていることを、選考委員長としては喜ばしいと思う。

例年のことだが、選考のための現場調査などをご担当頂いたワーキンググループの委員の方々には、夏の暑い盛りには作業をしていただいた。さらに、惜しくも三次選考にもれた多くの企業の方々にも調査にご協力頂いた。みなさんのご努力とご協力に、心から感謝したい。

第14回「勇気ある経営大賞」受賞企業

大 賞

株式会社キミカ

優秀賞

株式会社アスペクト

管清工業株式会社

特別賞

株式会社東京インスツルメンツ

株式会社マツブン

奨励賞

株式会社INNOCENT DESIGN WORKS

高級アルコール工業株式会社

株式会社ジーエムピーインターナショナル

J-Workout株式会社

ジオ・サーチ株式会社

株式会社セベル・ピコ

株式会社田丸製作所

ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社

株式会社モノビット

株式会社流機エンジニアリング

※2016年9月20日発表 ※同賞内は社名50音順

第14回 勇気ある経営大賞

株式会社キミカ

大賞

代表取締役社長

かさはら
笠原

ふみよし
文善



所在地 東京都中央区八重洲2-4-1
資本金 10,000万円
従業員数 108名(パート・アルバイト除く)
創業 1941年(昭和16年)

【事業の概要】

アルギン酸(※)ならびにその応用製品の製造および販売

受賞理由

- 原材料の調達難、環境規制強化、安価な海外製品との競合などの急激な環境変化による事業存続の危機に際し、原産地への工場進出を英断、世界最高品質レベルの量産体制により、競合他社の受託生産も行い事業を再建したこと。
- 国際部門の強化に加え、北米では現地法人を立ち上げ物流拠点を整備し、結果売上げを倍増させたこと。さらに再生医療等新分野にも果敢に投資し、治験開始に漕ぎつけるなど、積極的な挑戦を継続していること。

誘惑に負けず愚直にアルギン酸一筋で、世界有数の企業に成長

同社は1941年、創業者である笠原文雄氏が浜に打ち上げられる無尽蔵の海藻からアルギン酸を抽出することを思いつき創業。1984年に現社長笠原文善氏が経営に参画したが、大規模なエルニーニョ現象の発生による原料海藻の調達難、排水に対する規制強化、安価な海外製品の市場参入など急激な経営環境の変化が次々と起こり、事業存続の危機に陥った。1987年世界最大の原材料産地チリに工場進出することを窮余の一策として英断し、世界最高品質のアルギン酸が、低コストで量産可能になった。結果、業界最大手の米競合企業も注目し、生産効率の悪い自社製品の生産委託を打診してきた。その注文量は当時の全製品の月間生産量の6倍相当あり、生産開始時の歩留りは2分の1程度と大変苦労した。しかしながら同業他社からの厳しい要請に背伸びして挑戦し続けることにより品質、価格、技術力、安定供給体制のどれをとっても、お客様にとって「世界で一番いい会社」と言えるまでになった。

直近の10年では国際部の強化に取り組むとともに、最大市場である米国の現地法人を通じて、現地人スタッフによる販売と技術サービスの提供を実現、物流拠点となる在庫基地を構えるなど現地化を進めることで売上高を倍増させた。また、中国企業が原材料入手難の折にチリに殺到した際には自社在庫分を提供したことで、中国企業の信頼を得て、合併会社に共同出資するなどの協業関係を作りあげた。さらに、医療分野ではすり減ったひざの軟骨を修復するという再生医療用途に着目、量産と同じレベルの無菌状態でかつ発熱成分を除去できる製造ラインに果敢に先行投資し、治験開始に漕ぎつける等、攻めの経営を貫いている。



創業者: 笠原文雄氏



上・原藻
下・アルギン酸製品



使用例 (食品サンドイッチ、麺類)

同社が提供するアルギン酸のスペックは500を超える、「ワンユーザー、ワンスペック」

のモデルで市場のニーズに応えながら、国内では新たな用途と需要をつくり出し、市場シェアを拡大してきた。海外市場では受託生産により間接的に、販売シェアを伸ばしてきたが、自ら攻める準備が整ったいま、次なる10年ではさらなる飛躍が期待できる勇気ある企業である。

第14回 勇気ある経営大賞

優秀賞

株式会社アспект

代表取締役

はやの せいじ
早野 誠治



所在地 東京都稲城市東長沼3104-1-101
資本金 3,000万円
従業員数 41名(パート・アルバイト除く)
創業 1996年(平成8年)

【事業の概要】

ハイエンド3Dプリンターの開発・製造・販売

受賞理由

- 米国メーカーから販売代理権を剥奪された後、自社製品の開発に挑戦。自社製装置の開発には膨大な開発費を要し、資金繰り等経営は困難を極めたが、3年の歳月を掛け、初の日本製ハイエンド3Dプリンターの製品化に成功したこと。
- 融点が200℃を超える材料に対応した装置の開発は不可能と考えられていたが、重厚長大産業向けに高温対応装置の需要拡大が見込まれると考え、同装置の開発に成功し、現在では世界の3Dプリンターの中心的プレーヤーに成長したこと。



展示会の様子

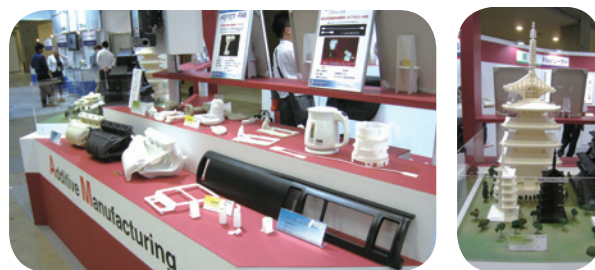
日本製ハイエンド3Dプリンターを世界に

創業者で現社長の早野氏は1980年に大手商社に入社、1985年頃から社内で3Dプリンター事業の推進に携わるも、会社はほどなくして3Dプリンター事業からの撤退を決める。「日本の3Dプリンター市場に一石を投じたい」。そんな強い思いから、商社を退社後1996年に同社を設立した。

創業後まもなくして、米国の3Dプリンターメーカーの販売代理権を獲得したものの、1台5千万円以上するハイエンド3Dプリンターを購入する顧客は当時日本にほとんどいなかった。同社は破綻寸前まで追い込まれたが、自前で購入した装置を使った模型製作の受注(受託造形サービス部門)が増えてきたことで徐々に業績は好転していく。

ところが、2001年に転機が訪れる。米国の3Dプリンターメーカーが突如、販売代理権の剥奪を宣告してきたのである。この時、受託造形サービスに特化したビジネスモデルで事業継続することも検討したが、「窮地は好機」と捉え、自社製装置の開発に挑戦する事を決意する。装置の開発には膨大な開発費を要し、資金繰り等経営は困難を極めた。さらに、ハードウェアの開発を委託した企業が撤退を表明するなど技術的な障壁も立ちはだかる中、東京都の助成金や東京大学の研究支援等を得ながら、3年の歳月を掛け、ようやく初の日本製ハイエンド3Dプリンターの製品化に成功する。

その後、材料開発にも成功し、装置の安定稼働もできるようになったが、その矢先にリーマンショックが発生。さらに同社製品が特許侵害等の中傷や風評被害に遭うなどその後も経営の危機を迎えることはあったが、金融機関の支援も得ながら経営を続けてきた。そして同社は今、新たなステージへと移り出している。無謀ともいわれた融点200℃超の材料に対応した装置の開発に成功、販売も開始した。航空機等の重厚長大産業向けに同装置の需要拡大が見込まれ、この分野では世界をリードしている。既存装置のラインナップと併せ、現在では世界の3Dプリンターの中心的プレーヤーに成長したが、日本製3Dプリンターの普及を進める創業者の挑戦はこれからも続く。



3Dプリンターで製作した造形物



自社製のハイエンド3Dプリンター

第14回 勇気ある経営大賞

優秀賞

管清工業株式会社

代表取締役社長

は せ が わ けん じ
長谷川 健司



所在地 東京都世田谷区上用賀1-7-3
資本金 2億5,000万円
従業員数 365名(パート・アルバイト除く)
創業 1962年(昭和37年)

【事業の概要】

下水道管路施設管理業

受賞理由

○従来、大口径の下水道管路の調査は、人間の目視により行われていたが、増水で調査員が流されるなど重大事故が発生していた。そこで、長距離で高水位での調査に対応した調査専用ロボット「グランドビーバーシステム」の開発に挑戦。調査員の安全面を確保した上で、より詳細な調査が可能になると、その安全性と技術力の高さが評価されるようになった。現在では機械による大口径管路調査が全国でも主流となり、業績も拡大させたこと。

従業員に対する想いが全国の管路調査の常識を変えた

現在、日本の下水道管路の総延長は47万kmを超え、老朽化による故障や事故の発生確率の高い施設が多く存在する。その施設をどう管理・メンテナンスするかは、近年重要な問題となっているが、同社は創業当初からいち早く管理の重要性に着目し事業を行ってきた。

元々調査に必要な機材等は欧米から輸入していたが、1998年に現社長が就任した後は自社内での技術開発に磨きがかかるようになった。社員からできるだけ多くの提案を吸い上げて組織を作り上げるスタイルで、風通しの良い社風を作り出し技術を進化させ、それに伴い会社もますます成長していった。その中で、会社は1つの大きな転機を迎えることになる。それが、下水道管路調査専用ロボット「グランドビーバーシステム」の開発である。



新ラインナップ
“グランド・スウィーパー”



出前授業の様子

従来、大口径の下水道管路の調査は、調査員(人間)の目視により行われていたが、増水で調査員が流されるなどの重大事故が幾度も発生、調査員の安全面の確保は会社にとって乗り越えねばならない大きな課題となった。自社の従業員を危険に晒すわけにはいかないという強い信念から、プロジェクトチームが発足、調査専用ロボットの開発がスタートした。莫大な開発費や技術的な課題などいくつもの困難が待ち受けていたが、2007年7月ついに長距離で高水位での調査に対応できる“グランドビーバーシステム”が誕生する。当初はなかなか自治体等の理解も進まなかったが、徐々に安全性と技術力の高さが評価されるようになり、現在では機械による大口径管路調査が全国でも主流となってきている。

グランドビーバーの開発によって業績が飛躍的に拡大した一方、社長は下水道の重要性をエンドユーザーに伝えることも必要だと考えるようになった。そのため、今では全国の小学生等を対象とした出前授業の実施など業界全体のイメージアップを図るための活動、いわゆる「下水道啓蒙活動」にも注力している。下水道管路管理のパイオニアとして、日本のインフラを支える同社の挑戦はこれからも続いていく。



グランドビーバーとその作業風景

第14回 勇気ある経営大賞

特別賞

株式会社東京インストルメンツ

代表取締役会長

するが しょうじ
駿河 正次



所在地 東京都江戸川区西葛西6-18-14
資本金 9,900万円
従業員数 45名(パート・アルバイト除く)
創業 1981年(昭和56年)

【事業の概要】

光学機器、レーザー、計測機器の輸出入、分析装置の製造販売

受賞理由

- ソ連崩壊直後の不安定な環境下、旧ソ連の光学技術に注目。先進レーザー技術を開発し、高度な専門技術者を採用、さらにベラルーシに合弁企業を2社設立した。これらの技術を積極的に取り込み、経営基盤の強化を実現したこと。
- 技術力が高いが赤字経営に陥っていた同業他社を買収。買収初年度に黒字転換しただけでなく、新製品を開発し業容を拡大するとともに、被買収企業の雇用を維持し、5年間で3割の賃上げを実現する等、高い経営手腕を発揮したこと。

旧ソ連の光学技術を融合した最先端技術・新製品開発に挑戦

創業者の駿河氏は技術者として電子部品・機器の技術商社に入社、1981年に独立し得意領域の測定・分析機器の専門商社として起業した。その際、担当していた欧米製品のトップセールスマンであったことから、顧客からの応援もあった。ソ連の先進レーザー技術には以前より興味があったがベールに隠されていて入手の手立てもなかった。1991年、モスクワ大学と接点があった取引先の大学教授より、ソ連崩壊を機に、先方を紹介いただき、以後通算で60回にわたり渡航し大学にも寄付を行うなどの活動を行った結果、先端技術のレーザーや分光技術を専門とする高度技術者や研究機関と交流関係を築くことができた。最終的には、ベラルーシで対等出資比率の合弁会社2社設立に結実した。現地合弁会社では品質管理等を指導するものの、経営はパートナーに任せて、現地製品を日本に輸入販売するというWin-Winの関係を築いた。現地発の専門技術は同社の経営基盤となり、現在社内には従業員45名のうち3名のロシア人を含む7名のドクターレベルの外国人研究者が活躍している。

リーマンショック後、金融機関の紹介により、同業ではあったが取扱商品が重複しないユニソクという計測機メーカーを買収した。同社は技術力が高いものの経営に問題があり赤字が続いていたが、東京インストルメンツが実践してきた経営改革を徹底するとともに、事業上の補完体制を取ることで業績を拡大し、結果的に雇用を維持しつつ買収初年度に黒字転換を実現した。その後も増収・増益基調を維持し、ユニソク社員の給与を5年で3割上げている。透明な経営と公平な人事評価システムにより被買収企業を含め社員の定着率が高く、今後も従業員を活かす経営を実践する企業として一層の活躍が期待される。



TIIグループ代表製品



ソ連崩壊をチャンスととらえる
1993年 モスクワゼナラル物理学研究所



ベラルーシに合弁会社設立



ユニソクをM&Aで買収



M&A後に成長するユニソク

第14回 勇気ある経営大賞 株式会社マツブン

特別賞

代表取締役社長

まつもと
松本 てるひと
照人



所在地 東京都足立区六町4-8-27
資本金 1,000万円
従業員数 8名(パート・アルバイト除く)
創業 1939年(昭和14年)

【事業の概要】

一般企業向けオリジナル刺繍商品の製作販売

受賞理由

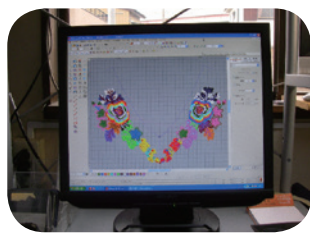
- アパレルメーカーの海外生産進展の影響で、売上の70%を占めていた受託加工の受注が減少し、企業存続の危機に直面する。一般企業のユニフォーム・販促品に、オリジナル刺繍の活路を見出し、明確な価格設定や顧客企業のブランディング向上を目的とした自社企画商品の開発等により、下請け加工業からの脱却に挑戦。小規模企業で営業人材に余裕がないことから、WEBを活用した新規顧客の開拓を実現し、売上高を伸長させ、脱下請けに成功したこと。

新ビジネスモデルを構築し脱下請けに成功

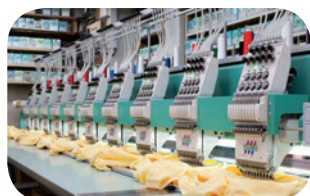
1939年現社長の祖父である松本文作氏が、当時は東京に三人しかいない手刺繍による個人名(ネーム)刺繍加工で東京都荒川区にて創業する。父である前社長の入社に伴い機械化し、アパレルメーカー向けワンポイント刺繍の受託加工業が主業となる。

そして外資系企業で経験を積んできた現社長が入社した2000年に大きな転機が訪れる。アパレルメーカーの海外生産の進展、繊維企業の不祥事の影響もあり当時売上の70%を占める受託加工の受注が激減し、企業存続の危機に直面する。

アパレル業界の海外生産移行の流れは加速し、国産アパレル市場への新規営業では売上回復は困難を極めた。そのような状況下において下請け加工業(メーカー受託加工)から一般企業・団体のユニフォーム、販促品にオリジナル刺繍の需要があることを見出し、主業を一般企業・団体に直接販売するビジネスモデルにシフトする大きな決断をする。



簡易型刺繍版製作(上)とデジタイザー(下)



刺繍機械

2001年にWEBサイトを開設し、直接販売の新規営業に着手する。当時、業界初となる取次業者向け刺繍価格表の設定、刺繍商品の定額制販売と価格を明確化、自社仕入(今治タオル、日本製高級ポロシャツ)したオリジナル刺繍製品の開発販売で受注増に繋げていく。顧客企業のブランディング向上を目的としたオリジナル刺繍の提案は、営業人員が少ないながらWEBサイトと通販にはない綿密な打ち合わせで

お客様の希望に沿った高品質な仕上がりを目指す。現在主流のコンピューターによる簡易型刺繍版製作のみでなく、より細やかな刺繍表現ができるデジタイザー(手打ち式刺繍版製作)も採用したオリジナル刺繍は、顧客からのリピート率も非常に高い。

国内刺繍加工会社数が全盛期の約4分の1に減少(約500社)する中、アパレルメーカーからの受託加工は毎年減少し、2010年には取引がゼロになったが、新ビジネスモデルの構築に成功したことで、現社長入社時の2000年比で売上高が約450%増加するまでに成長している。

総合刺繍メーカーとして社訓とする「一針入魂」の精神で、刺繍を通じたお客様のブランディング向上のお手伝いは、今後も多くの企業・団体に支持されていくことだろう。



刺繍入りポロシャツ



今治タオル刺繍

第14回
勇気ある経営大賞

奨励賞

受賞企業一覧 (10社、社名50音順)

奨励賞とは

大賞・優秀賞・特別賞とは別に、革新的な製品・サービスやビジネスモデルを生み出すための努力がみられ、総合的な観点から今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞されることが期待される企業に贈られるもの。

株式会社INNOCENT DESIGN WORKS

代表取締役 服部 稔

所在地 埼玉県熊谷市本町2-78
(都内:東京都渋谷区)
従業員数 26名(パート・アルバイトを除く)
創業 2007年(平成19年)

【主な企業の特徴】

女性用下着(OEM)事業が好調に推移する中、敢えて高付加価値サイクリングウェアの自社ブランドを立上げる。表参道に直営店をオープンするまでブランド価値を高め、業容を拡大させている。

高級アルコール工業株式会社

代表取締役社長 川合 清隆

所在地 千葉県成田市吉岡641-6 大栄工業団地
(都内:東京都中央区)
従業員数 68名(パート・アルバイトを除く)
創業 1952年(昭和27年)

【主な企業の特徴】

市場のニーズに対応し、化粧品・医薬品向けに世界最多品種の高級アルコール類を製造販売。独自の感覚的表現の数値化を確立し、日本、韓国、中国、EU、アメリカの主要化粧品製造会社に販売実績を持つ。

株式会社ジーエムピーインターナショナル

代表取締役 飯田 美恵子

所在地 東京都渋谷区富ヶ谷1-18-5 TIビル
従業員数 63名(パート・アルバイトを除く)
創業 2002年(平成14年)

【主な企業の特徴】

オリジナル三輪ベビーカーで国内寡占市場に挑戦、自社販売網とサービス網を構築し、プレミアム市場を創出。ドッグカート、ショッピングカートとしても永く使える3イン1商品に進化させ、欧米等海外でも展開している。

J-Workout 株式会社

代表取締役社長 伊佐 拓哲

所在地 東京都江東区木場2-17-13 第二亀井ビル3F
従業員数 41名(パート・アルバイトを除く)
創業 2007年(平成19年)

【主な企業の特徴】

「KNOW NO LIMIT~回復に限界はない~」の理念のもと、日本初となる脊髄損傷者専門トレーニングジムとして東京、大阪の2拠点で400名近いクライアントの再歩行を目指している。

ジオ・サーチ株式会社

代表取締役社長 富田 洋

所在地 東京都大田区西蒲田7-37-10
従業員数 153名（パート・アルバイトを除く）
創業 1989年（昭和64年）

【主な企業の特徴】

一般道を走行しながら路面下の空洞確認を行う非破壊検査技術「スケルカ」を開発・実用化。高い技術力を有し、インフラの内科医として減災事業を通じて、災害に強い社会作りに貢献している。

株式会社セベル・ピコ

代表取締役 二宮 朝保

所在地 東京都葛飾区青戸1-8-2
従業員数 17名（パート・アルバイトを除く）
創業 1980年（昭和55年）

【主な企業の特徴】

宝飾パーツの専門メーカーとして独自の製品開発と知的財産戦略の両輪で自社技術と自社製品を守る経営を実践し、海外模倣品の影響で大きく減少した国内シェアを50%程度まで回復させている。

株式会社田丸製作所

代表取締役 田丸 大助

所在地 東京都江東区扇橋3-6-6
従業員数 10名（パート・アルバイトを除く）
創業 1935年（昭和10年）

【主な企業の特徴】

天井クレーンの設計・施工・メンテナンスの高い技術を基に建築構造物に進出。大型トレーラーの荷台、高速道路の文字板架台、トンネル金具など、一品ものの製造により業績を拡大している。

ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社

代表取締役 岡村 克也

所在地 東京都文京区本郷2-17-12 プロト本郷第2ビル
従業員数 15名（パート・アルバイトを除く）
創業 1983年（昭和58年）

【主な企業の特徴】

現社長の就任後、マニュアル制作からコンプライアンス支援サービスを主軸とした事業活動へビジネスモデルをシフト。今では、400を超える企業に導入が広がっている。

株式会社モノビット

代表取締役社長 本城 嘉太郎

所在地 東京都新宿区新宿1-9-2 ナリコマHD新宿ビル
従業員数 82名（パート・アルバイトを除く）
創業 2013年（平成25年）

【主な企業の特徴】

通信ミドルウェア「モノビットエンジン」の開発に成功。高い技術力が評価され、大手ゲームメーカーやITベンダーとの協業による事業展開が進んでいる。

株式会社流機エンジニアリング

代表取締役社長 西村 司

所在地 東京都港区三田3-4-2 いちご聖坂ビル
従業員数 96名（パート・アルバイトを除く）
創業 1977年（昭和52年）

【主な企業の特徴】

フィルタ技術をコアとして、あえて在庫を持つ「メーカーレンタル」スキームを採用し、トンネル工事用換気設備への導入で顧客を開拓。水再生処理、原子力・航空宇宙試験設備等へと分野を拡大している。

第14回「勇気ある経営大賞」実施概要

趣 旨

「勇気ある経営大賞」は、東京商工会議所が、厳しい経営環境の中で勇気ある挑戦をしている中小企業またはグループ（以下、企業）を顕彰する制度。

革新的あるいは創造的な技術・技能やアイデア・経営手法等により、独自性のある製品・サービスを生み出している企業の顕彰を行い、その活動を広くPRすることで、後に続く企業に目標と勇気を与え、ひいては経済の活性化に資することを目的とする。

なお、応募にあたっては、業種・業歴やベンチャー・既存企業の別は問わない。

本賞における“勇気”とは

本賞では、過去に拘泥することなく大きく経営の舵を切る決断を下し、実際に以下の行動をとったことを“勇気”とし、下記の選考基準の「チャレンジ精神」として評価する。

◆大きなリスクに挑戦したか

◆常識の打破に挑戦したか

◆高い障壁に挑んだか

◆高い理想の追求を行ったか

選考基準、評価のポイント

1. 製品・サービス ①革新性・独自性・優位性 ②技術・技能・ノウハウ ③市場性・成長性・社会性	○製品・サービスに革新性・独自性・優位性があり、新たな付加価値を生み出しているか。 ○技術・技能・ノウハウに、他社が追随できない優れた特徴はあるか。 ○市場シェア、顧客満足度は高いか。製品・サービスに成長性や社会性はあるか。
2. 経営手法 ①ビジネスモデル ②人材の育成・活用 ③コンプライアンス、環境対策、社会貢献活動など	○ビジネスモデルに独自性があり、他の中小企業の模範となるものか。 ○社外資源（取引先や公的機関など）を有効活用しているか。 ○多様な人材がイキイキと働くよう、人材の育成や従業員満足度の向上に力をいれているか。 ○コンプライアンス徹底や環境対策、社会貢献活動に積極的に取り組んでいるか。
3. チャレンジ精神 ①チャレンジ精神と事業化能力 ②経営理念 ③成長戦略	○確固たる戦略に基づいてチャレンジ精神を発揮し、成果をあげているか。 ○いかなる苦境にも、工夫とイノベーションによりそれを克服し、成長を果たしたか。 ○経営理念や成長戦略が明確であるか。また、それが社員にまで十分浸透しているか。
4. 業績・財務状況 ①財務基盤 ②収益性・成長性	○将来的な企業存続のための財務基盤が確立しているか。 ○収益性・成長性は高いか。【本項目は副次的な参考要素にとどめる】

※上記の選考基準項目をすべて満たしていない場合でも、特に優れた項目について積極的な評価を行います。

※選考に関しては、過去の顕彰・表彰実績や大企業との資本関係の有無等を考慮する場合があります。

※創業時の取り組みについては、その内容とそれに伴う成果や実績を明確に記載することが必要となります。

ただし、創業自体をもって、チャレンジ精神として評価することはありません。

※技術大賞とは異なり、製品・サービス内容における技術的優位性などはあくまで評価項目の1つとなります。

■ 運営組織（敬称略・順不同）

① 実行委員会（最終選考委員）

委員長 伊東 孝紳 東京商工会議所 副会頭
 （本田技研工業株式会社 取締役相談役）

委員 石井 卓爾 東京商工会議所 副会頭・中小企業委員長
 （三和電気工業株式会社 社長）

平井 克彦 東京商工会議所 特別顧問・工業部会長
 （東レ株式会社 相談役）

伊丹 敬之 東京理科大学 イノベーション研究科 教授

望月 晴文 東京中小企業投資育成株式会社 社長

遠藤 一夫 フジサンケイビジネスアイ 社長

② 選考委員会（最終選考委員）

委員長 伊丹 敬之 東京理科大学 イノベーション研究科 教授

副委員長 望月 晴文 東京中小企業投資育成株式会社 社長

委員 鵜飼 信一 早稲田大学商学学術院 教授

大久保秀夫 株式会社フォーバル 会長

今野 由梨 ダイヤル・サービス株式会社 社長

原田 晃 東京都立産業技術研究センター 理事・開発本部長

保坂 政彦 東京都中小企業振興公社 専務理事

間部 彰成 東京商工会議所 理事・事務局長

③ 選考ワーキンググループ（第二次・第三次選考委員・実地調査担当）

座長 鵜飼 信一 早稲田大学商学学術院 教授

委員 井上 考二 株式会社日本政策金融公庫 総合研究所 主任研究員

大村 智之 東京中小企業投資育成株式会社 統括審査役

河野 浩邦 東京都中小企業振興公社 事業戦略部 創業支援課長

四ツ柳茂樹 株式会社OCL 代表取締役

若槻 直 一般社団法人東京都中小企業診断士協会 理事 副会長

藁品 和寿 信金中央金庫 地域・中小企業研究所 主任研究員

斎木 純一 フジサンケイビジネスアイ 専務取締役

山下 健 東京商工会議所 中小企業部長

④第一次選考委員

委 員	遠藤 啓治	中小企業診断士
	小野 晴世	中小企業診断士
	坂本 篤彦	中小企業診断士
	佐川 博樹	中小企業診断士
	座間 正信	中小企業診断士
	田草川博信	中小企業診断士
	角澤 明	中小企業診断士
	松浦 徹也	中小企業診断士

■ 顕彰対象ならびに賞金

独自の技術・技能や経営手法によって、新たな製品・サービスを生み出すなど、勇気ある挑戦（経営）をしている中小企業またはそのグループ。特に製品・サービス、経営手法、経営者の理念・ビジョンのほか、業績や財務状況などの面で優れ、革新性と独自性にあふれた中小企業またはそのグループ。

「勇気ある経営大賞 大 賞」 賞金：200万円

「勇気ある経営大賞 優秀賞」 賞金：50万円

「勇気ある経営大賞 特別賞」 賞金：30万円

※選考の結果、大賞に該当する企業がない場合や複数企業が大賞となる場合もあり得る。

大賞企業が複数の場合は、大賞賞金額の範囲内で等分するものとする。

※特別賞は、挑戦度や商品力、経営手法、経営者の理念・ビジョン、業績・財務状況などの総合的な面では大賞・優秀賞に及ばないものの、極めてユニークな取り組みやキラリと光る個性を持った企業に贈賞する。

■ 応募資格

次の①②のいずれにも該当する企業もしくは企業グループ（自薦・他薦は問わない）

①中小企業基本法に定める中小企業（※）で原則として未上場企業。

※資本金3億円以下または常時雇用する従業員300人以下の会社。ただし、卸売業の場合は資本金1億円以下または従業員100人以下、小売業の場合は資本金5,000万円以下または従業員50人以下、サービス業の場合は資本金5,000万円以下または従業員100人以下。
みなし大企業はご応募できません。

②東京都に事業活動の拠点（支社・支店・工場・営業所・事務所等も含む）を置く企業。

但し、1都8県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・群馬県・茨城県・栃木県・山梨県・静岡県）に本社機能がある企業に限る。なお、東京商工会議所の会員・非会員を問わない。

■ 募集期間

2016年1月14日～3月11日

■ 応募総数

167件

～業種別内訳～

建設業……13社（7.8%）	小売業……4社（2.4%）
製造業……63社（37.7%）	金融・保険業…1社（0.6%）
情報通信業……19社（11.4%）	不動産業…1社（0.6%）
運輸業……3社（1.8%）	サービス業……52社（31.1%）
卸売業……11社（6.6%）	合計：167社

■ 選考過程

第一次選考会（書類審査）	4月20、21日
第二次選考会（書類審査）	6月8日
実地調査	6月24日～8月2日
第三次選考会（実地調査審査）	8月18日
最終選考会（プレゼンテーション審査）	9月9日

■ 推薦機関一覧

株式会社日本政策金融公庫	一般社団法人日本金型工業会
株式会社商工組合中央金庫	一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)
東京中小企業投資育成株式会社	川越商工会議所
株式会社東京都民銀行	熊谷商工会議所
朝日信用金庫	港区商店街連合会
足立成和信用金庫	SMK株式会社
亀有信用金庫	兼松ケミカル株式会社
興産信用金庫	株式会社サンスマイル
西京信用金庫	スターティア・ラボ株式会社
城南信用金庫	滝川株式会社
城北信用金庫	株式会社ナック
昭和信用金庫	有限責任監査法人トーマツ
西武信用金庫	フジサンケイビジネスアイ
世田谷信用金庫	
東京三協信用金庫	<順不同>
東京東信用金庫	
埼玉縣信用金庫	
浜松信用金庫	
株式会社三井住友銀行	
株式会社千葉銀行	
株式会社横浜銀行	
公益財団法人東京都中小企業振興公社	

「勇気ある経営大賞」過去受賞企業一覧

回数 年	賞 種	会社名 ※【 】内は現在	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地 ※【 】内は現在
第1回 2003年 (H15年)	大 賞	株式会社メディネット	平成7年	「免疫細胞医療法」における医療機関への支援 (サービス)	横浜市
	優秀賞	株式会社キャドセンター	昭和62年	建築シミュレーション等ビジュアルコンテンツ制作 (情報サービス)	新宿区 【現：千代田区】
		株式会社生活の木	昭和30年	ハーブ関連商品の製造・販売 (小売)	渋谷区
		日本風力開発株式会社	平成11年	風力発電所の開発・運営 (エネルギー)	港区
		株式会社ピー・ジー・エム	平成10年	ヨーロッパ古着の量り売り (小売)	目黒区
		マイクロニクス株式会社	昭和60年	電子計測器・情報通信機器の開発・製造 (製造)	相模原市 【現：八王子市】
		マノ精工株式会社	昭和23年	切削による精密金属加工 (製造)	立川市
	特別賞	株式会社太新	平成8年	養殖魚の生産、水産物の加工販売 (卸売)	港区
		株式会社ダイワハイテックス	昭和53年	書籍の包装機械・副資材の製造・販売 (製造)	板橋区
		株式会社ファイマテック	昭和62年	重質炭酸カルシウム(製紙用顔料)の製造 (製造)	港区
		フットマーク株式会社	昭和21年	水泳用品・介護用品等の企画・製造 (製造)	墨田区
第2回 2004年 (H16年)	優秀賞	株式会社アイエス	平成10年	ペットボトル等のケミカルリサイクル技術開発 (サービス)	港区
		株式会社アパレルウェブ	平成12年	ポータルサイト運営、ビジネスマッチング (サービス)	中央区
		エビナ電化工業株式会社	昭和21年	特殊めっき加工 (製造)	大田区
		大智化学産業株式会社	昭和41年	電子部品素材の水溶性加工溶剤の開発・製造 (製造)	墨田区
		株式会社木村技研	昭和23年	各種トイレ・水処理システムの製造・施工 (製造)	世田谷区
		坂田電機株式会社	昭和27年	土木・建築関連の計測機器の開発・製造 (製造)	西東京市
		株式会社シナジー	昭和59年	システム開発製造・販売 (サービス)	品川区
		株式会社日本パープル	昭和47年	機密書類・情報記録媒体の集荷・抹消処理・保管 (サービス)	港区
第3回 2005年 (H17年)	大 賞	株式会社サキコーポレーション	平成6年	プリント基板実装工程向けの自動外観検査装置の開発 (製造)	港区 【現：品川区】
	優秀賞	株式会社アキュラホーム	昭和53年	住宅建築、工務店経営コンサルティング (建設)	さいたま市 【現：新宿区】
		株式会社アタゴ	昭和15年	各種屈折計(濃度測定)の開発 (製造)	港区
		株式会社ウェルシィ	昭和60年	地下水膜ろ過システムの製造・メンテナンス (製造)	中央区 【現：千代田区】
		エム・アンド・エスファインテック株式会社	平成10年	ガラス研磨装置の開発・製造 (製造)	港区
		東成エレクトロビーム株式会社	昭和52年	電子ビーム・レーザによる金属部品の受託精密加工 (製造)	西多摩郡 瑞穂町
		マイルストーン株式会社	平成10年	プラスチック小型非球面レンズの開発・設計 (製造)	府中市 【現：朝霞市】
		三鷹光器株式会社	昭和41年	医療・産業用の光学機器等の開発・製造 (製造)	三鷹市
		ミナミ株式会社	昭和55年	半導体表面実装用スクリーン印刷機の開発・製造 (製造)	府中市
		株式会社ワールドケミカル	昭和46年	油回収ポンプ・システムの開発・製造 (製造)	港区 【現：台東区】
	特別賞	イデアールプロジェクト株式会社	平成15年	リノベーションを主とする不動産開発の企画・運営 (不動産)	目黒区
		株式会社ロコモジェン	平成13年	ゲノム創薬に基づく医薬品・診断薬の研究開発 (サービス)	港区

回数 年	賞 種	会社名 ※【 】内は現在	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地 ※【 】内は現在
第4回 2006年 (H18年)	大 賞	岡野工業株式会社	大正13年	痛くない注射針等の金属加工業 (製造)	墨田区
		株式会社ダイマジック	平成11年	3Dオーディオシステムを活用した音響機器開発 (製造)	千代田区
	優秀賞	京王電化工業株式会社	昭和43年	各種メッキ処理、環境対応型メッキ技術の開発 (製造)	調布市
		スターウェイ株式会社	平成11年	再利用梱包箱を利用した物流業 (サービス)	港区
		株式会社大和テクノシステムズ	昭和42年	理科学機器パーツの精密加工・開発・設計 (製造)	町田市
		株式会社日進産業	昭和52年	特殊多機能性塗料の研究・開発・製造 (製造)	板橋区
		株式会社橋本鑄造所	明治45年	多品種鑄造品の製造・販売 (製造)	大田区
		株式会社松崎マトリクステクノ	昭和17年	繊維編機機械、繊維製品の開発・製造 (製造)	板橋区
		株式会社明王化成	昭和44年	電子部品精密成形、精密金型設計製作 (製造)	大田区
		株式会社ユニフローズ	昭和60年	分析装置用マイクロポンプの開発・製造 (製造)	あきる野市
	特別賞	有限会社酒舗まさるや	昭和43年	地酒と本格焼酎を専門とした酒の販売 (小売)	町田市
第5回 2007年 (H19年)	大 賞	株式会社チバダイス	昭和41年	小型精密歯車の開発・設計・製造 (製造)	葛飾区
		東光薬品工業株式会社	昭和36年	白血病治療薬の開発・製造 (製造)	足立区
	優秀賞	株式会社イビサ	昭和40年	自社ブランド革製手作りバッグの製造 (製造)	港区
		京西テクノス株式会社	平成3年	全メーカーの計測・医療・通信機器の保守・修理 (サービス)	八王子市 【現：多摩市】
		昭和測器株式会社	昭和43年	様々な分野における振動計測器の開発 (製造)	千代田区
		株式会社東京信友	昭和58年	聴覚障がい者用情報伝達機器の開発 (製造)	新宿区
		株式会社浜野製作所	昭和53年	レーザー加工・金型・精密板金・プレス加工 (製造)	墨田区
		株式会社ワールドバイオニア 【現：ダブル・ビー株式会社】	平成3年	聴覚障がい者向け機器製造及びサポートサービス (製造)	中野区
	特別賞	株式会社ヤマグチ	昭和40年	地域密着型家電小売業 (小売)	町田市
第6回 2008年 (H20年)	大 賞	株式会社エリオニクス	昭和50年	ナノテク研究用の超微細加工・分析装置の開発 (製造)	八王子市
		大和合金株式会社・ 三芳合金工業株式会社	昭和16年 昭和38年	特殊銅合金の開発・製造 (製造)	板橋区 埼玉県入間郡
	優秀賞	日本分析工業株式会社	昭和40年	液体クロマトグラフの開発・製造 (製造)	西多摩郡 瑞穂町
		株式会社マルコム	昭和48年	はんだ付け関連装置及び核酸抽出装置の開発 (製造)	渋谷区
		株式会社メトロール	昭和51年	機械式高精度接触センサの開発・製造 (製造)	立川市
		株式会社リーテム	明治42年	廃棄物処理及び環境コンサルタント (サービス)	千代田区
	特別賞	有限会社原田左官工業所	昭和24年	左官工事及び湿式工事 (建設)	文京区



回数 年	賞 種	会社名 ※【 】内は現在	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地 ※【 】内は現在
第7回 2009年 (H21年)	大 賞	坂口電熱株式会社	大正12年	あらゆる産業向けのヒーター及び部品の製造・販売 (製造)	千代田区
	優秀賞	株式会社井口機工製作所	昭和30年	ボールベアリングを用いた搬送用装置の製造 (製造)	練馬区
		株式会社相馬光学	昭和51年	光を利用した分析・測定・計測機器の開発 (製造)	西多摩郡 日の出町
		株式会社田代合金所	大正3年	錫合金を用いた内装建材の製造 (製造)	台東区
		株式会社ヒキフネ	昭和7年	装飾・機能・精密などあらゆる種類のめっき加工 (製造)	葛飾区
	特別賞	株式会社OKUTA	平成4年	自然素材を利用した住宅リフォーム (建設)	さいたま市
		株式会社環境経営総合研究所	平成10年	古紙と樹脂を混練・成形した紙製容器等の製造 (製造)	渋谷区
		久米繊維工業株式会社	昭和10年	国産オリジナルTシャツの企画・製造・販売 (製造)	墨田区
		グラパックジャパン株式会社	大正14年	印刷、紙器製造、レンズシートの製造・販売 (製造)	墨田区
		株式会社ズーム・ティー 有限会社奥谷硝子製作所	昭和62年 昭和38年	ドクターベッタほ乳びんほかベビー用品の販売(小売) 手作りによる各種ガラス製品の製造(製造)	港区 江戸川区
第8回 2010年 (H22年)	大 賞	アルケア株式会社	昭和30年	医療・福祉・健康分野器具の開発・製造 (製造)	墨田区
		日本理化学工業株式会社	昭和12年	チョークを中心とする文具・事務用品製造 (製造)	川崎市
	優秀賞	株式会社オブナス	昭和5年	自動販売機・住宅ドア等の錠及び鍵の製造 (製造)	千代田区
		株式会社グルメン	昭和59年	日配食品を中心とする食品流通 (卸売)	港区
		株式会社長津製作所	昭和25年	精密プラスチック金型の設計・製作 (製造)	川崎市
		株式会社マテリアル	平成4年	非鉄金属材料販売、精密機械加工 (製造)	大田区
		株式会社ミラック光学	昭和38年	精密光学機器・位置決めステージ等の製造 (製造)	八王子市
	特別賞	アラヤ株式会社	平成16年	製品の取扱説明書等の多言語翻訳 (サービス)	目黒区
		株式会社大麦工房口ア	昭和61年	大麦を使った菓子・食品の製造・販売 (製造)	足利市
		有限会社モーハウス	平成9年	授乳服の製造・販売 (製造)	つくば市
第9回 2011年 (H23年)	大 賞	株式会社サカエ	昭和27年	電気機械器具製造業(シーズヒーター、シュレッター、 検査用医療機器等の製造・販売)(製造)	港区
	優秀賞	アトムメディカル株式会社	昭和13年	医療機器の製造、販売、輸出入及び保守、メンテ ナンスサービス(製造)	文京区
		小杉造園株式会社	昭和18年	庭園のデザインから施工、メンテナンスまでの一連 の業務請負(建設)	世田谷区
		株式会社データ・テック	昭和58年	車載機「セイフティレコーダー」の開発、販売及び支援業務 (製造)	大田区
		株式会社旅籠屋	平成6年	ロードサイドホテルチェーン「ファミリーロッジ旅 籠屋」の経営(サービス)	台東区
		深中メッキ工業株式会社	昭和27年	電気メッキ業(主に、電子部品の表面処理) (製造)	墨田区
	特別賞	福永紙工株式会社	昭和38年	印刷 紙器加工 (製造)	立川市
		株式会社ベアーズ	平成11年	家事代行、介護支援、子育て支援、ハウスクリーニング (サービス)	中央区

回数 年	賞 種	会社名 ※【 】内は現在	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地 ※【 】内は現在
第10回 2012年 (H24年)	大 賞	株式会社日本レーザー	昭和43年	レーザー・光学機器製品の輸入販売及び自社品 開発販売・サービス(卸売)	新宿区
	優秀賞	株式会社鬼塚硝子	昭和42年	各種ガラス機器、CO2レーザー、電界放出型X 線管の製造販売(製造)	青梅市
		有限会社清田製作所	昭和38年	半導体関連電子部品回路検査装置用コンタクト プローブ製造・販売(製造)	北区
		株式会社コヤマドライビングスクール	昭和32年	自動車教習所 (サービス)	渋谷区
		ダイヤ精機株式会社	昭和39年	自動車メーカー及び部品メーカー向け精密部品・ 治工具、設計(製造)	大田区
		株式会社田中医科器械製作所	大正5年	手術用鋼製手術器械の製造販売 (製造)	北区
		武州工業株式会社	昭和27年	自動車用金属加工部品・医療機器部品製造、自動 制御機械製作(製造)	武蔵村山市
	特別賞	山万株式会社	昭和26年	建築設計施工、宅地造成販売、不動産売買、仲介、 賃貸、鉄道事業(建設)	中央区
		株式会社ユーグレナ	平成17年	ユーグレナ(和名 ミドリムシ)の研究開発・生産品 質管理・販売(製造)	文京区
第11回 2013年 (H25年)	大 賞	株式会社内野製作所	昭和2年	新車開発用の歯車試作からF-1や航空産業用の 歯車までを製作する製造業(製造)	八王子市
	優秀賞	カネパッケージ株式会社	昭和51年	各種緩衝材・設計・試験・製造・販売(製造)	入間市
		株式会社西尾硝子鏡工業所	昭和7年	商業施設で使用するショーケースなどのガラス 加工・施工業務(建設)	大田区
		日進精機株式会社	昭和32年	超精密金型製造及び精密金属プレス加工、C N Cパイプベンダー他製造販売(製造)	大田区
		株式会社ミノダ	昭和39年	キャラクター商品企画製造、ワッペン等刺繍加工、 通販サイト運営(製造)	千代田区
		株式会社ユニバック	平成2年	フィルタ製造販売、空調設備の保守、管工事・ 電気工事(建設)	川口市
	特別賞	システム・インストルメンツ株式会社	昭和47年	医療、環境、健康、バイオ関連装置の製造・販売 (製造)	八王子市
		株式会社清和光学製作所	昭和22年	光学精密機器・装置開発製造(製造)	中野区
第12回 2014年 (H26年)	大 賞	株式会社アイオイ・システム	昭和59年	電子関連機器の設計・開発、製造・販売(製造)	大田区
	優秀賞	芝園開発株式会社	昭和61年	時間貸の駐輪場・駐車場の運営管理、放置自転 車対策事業などの受託(サービス)	足立区
		株式会社東洋ボデー	昭和31年	トラックの荷台(リアボディ)の設計・製造・販売 (製造)	武蔵村山市
	特別賞	有限会社エニシング	平成12年	日本伝統の帆布素材の前掛けの企画製造販売 (小売)	小金井市
		東京ブラインド工業株式会社	昭和24年	各種ブラインド・間仕切りの製造・販売・保守・ 修理サービス(製造)	港区
第13回 2015年 (H27年)	大 賞	スタック電子株式会社	昭和46年	テレビ放送や防災無線等で用いられる高周波と 光の伝送機器の製造・販売(製造)	昭島市
	優秀賞	株式会社ウエマツ	昭和33年	ポスター・カタログなどの高付加価値多色印 刷物製造(製造)	豊島区
		株式会社CSS技術開発	昭和60年	測量サービス、測量ソフト開発・販売、測量機レ ンタル、土質試験(サービス)	多摩市
	特別賞	北星鉛筆株式会社	昭和26年	鉛筆製造及び製造時に排出される廃棄物「おが 屑」の再商品化事業(製造)	葛飾区
		株式会社ヒカリ	昭和42年	理容師・美容師専用シザーズ、ネイリスト専用 ニッパー開発・製造・販売(製造)	板橋区

※データは受賞当時のものです。



「勇気ある経営大賞」運営事務局

東京商工会議所 中小企業部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-1丸の内二丁目ビル

Tel.03-3283-7644

URL : <http://www.tokyo-cci.or.jp>